



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社細田工務店  
コード番号 1906 URL <http://www.hosoda.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 憲一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 武藤 雅康  
管理本部長  
TEL 03-3220-1111  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,071	△18.1	△136	—	△335	—	△309	—
29年3月期第3四半期	13,509	8.8	332	3.7	138	18.7	128	20.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △330百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 119百万円 (28.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△16.53	—
29年3月期第3四半期	7.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	17,888	5,408	30.2	288.60
29年3月期	15,091	5,739	38.0	306.25

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,408百万円 29年3月期 5,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,124	12.6	554	23.9	294	44.6	238	16.3	12.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	19,016,512株	29年3月期	19,016,512株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	274,302株	29年3月期	274,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	18,742,210株	29年3月期3Q	16,889,120株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策や日銀の金融政策等により、企業業績や雇用環境の改善は続き、緩やかな回復基調で推移しているものの、アジア新興国や資源国の景気動向や周辺国での地政学リスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

建設・不動産業界におきましては、住宅ローン金利は低水準で推移しているものの、首都圏での事業用地取得競争による地価上昇は収まる気配を見せず、建築資材の高騰や物流コストの上昇等も更に深刻化しており、依然として厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、「市場変化に対応できる体質の構築」を基本方針とし、平成29年3月期を初年度とした「第二次中期経営計画」を実行しております。

建設事業におきましては、個人受注では、高気密・高断熱の快適性が体感できるモデルハウスを中心に営業展開をおこない、受注率および契約率の向上に努めてまいりました。また、リフォーム受注では、家と暮らしの相談所各店舗でのイベントをはじめ、本社ショールームにて「住まいのなんでも展」を開催し、新規顧客の開拓ならびに契約率の向上に努めてまいりました。

法人受注では、既存取引先からの安定受注の継続とともに、新規法人からの受注活動およびアパートやシェアハウス等の分譲住宅以外の商品受注や軽量鉄骨造の受注についても積極的に取り組んでまいりました。

不動産事業の戸建分譲事業におきましては、「クリスマスキャンペーン」や「2018新春公開予定物件先取りキャンペーン」を開催し、新規顧客の獲得ならびに成約数の確保に努めてまいりました。

また、今期より取り組みを開始した買取再販事業におきましては、事業物件の取得活動ならびに取得した物件のリノベーション、販売を手掛けるとともに、仲介事業におきましては、各種イベントへの積極的な参加や地域での情報ルートを活用し、売却希望者、購入希望者の開拓を行い、取扱案件数の増加に努めてまいりました。

経費面につきましては、業務の効率化を行うとともに、コストの低減と販売費の効率的な使用に努め、一般管理費の節減にも引き続き取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期の連結売上高は110億7千1百万円（前年同期比18.1%減）、営業損失は1億3千6百万円（前年同期は3億3千2百万円の営業利益）、経常損失は3億3千5百万円（前年同期は1億3千8百万円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億9百万円（前年同期は1億2千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）の計上となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、178億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比べて27億9千6百万円の増加となりました。これは主に、現金預金が17億6百万円、受取手形・完成工事未収入金等が4億8百万円減少した一方で、販売用不動産等たな卸資産が合計で47億4千3百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債総額が124億7千9百万円となり、前連結会計年度末と比べて31億2千7百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金(1年内返済予定含む)の合計が24億7百万円、未成工事受入金が6億8千7百万円増加したことによるものであります。

純資産は、54億8百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億3千万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が3億9百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は30.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点におきまして、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,369	1,662
受取手形・完成工事未収入金等	518	110
未成工事支出金	953	1,869
販売用不動産	3,021	4,311
仕掛販売用不動産	5,269	7,802
材料貯蔵品	25	29
その他	122	273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,280	16,059
固定資産		
有形固定資産		
土地	818	818
その他(純額)	345	332
有形固定資産合計	1,164	1,151
無形固定資産		
	73	87
投資その他の資産		
投資有価証券	67	70
その他	506	520
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	574	590
固定資産合計	1,811	1,829
資産合計	15,091	17,888

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	946	1,189
短期借入金	2,092	4,462
1年内返済予定の長期借入金	3,085	2,098
未払法人税等	35	8
賞与引当金	—	72
未成工事受入金	632	1,319
完成工事補償引当金	177	98
その他	766	584
流動負債合計	7,737	9,834
固定負債		
長期借入金	1,048	2,072
退職給付に係る負債	204	201
その他	361	371
固定負債合計	1,615	2,644
負債合計	9,352	12,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,181	4,181
資本剰余金	1,969	1,969
利益剰余金	257	△51
自己株式	△90	△90
株主資本合計	6,317	6,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	17
土地再評価差額金	△659	△659
退職給付に係る調整累計額	67	42
その他の包括利益累計額合計	△577	△599
純資産合計	5,739	5,408
負債純資産合計	15,091	17,888

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,509	11,071
売上原価	11,460	9,370
売上総利益	2,049	1,700
販売費及び一般管理費	1,717	1,837
営業利益又は営業損失(△)	332	△136
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	10
助成金収入	7	0
その他	5	3
営業外収益合計	21	14
営業外費用		
支払利息	143	144
支払手数料	42	66
その他	29	3
営業外費用合計	215	213
経常利益又は経常損失(△)	138	△335
特別利益		
投資有価証券売却益	—	39
特別利益合計	—	39
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	138	△300
法人税、住民税及び事業税	9	5
法人税等調整額	—	4
法人税等合計	9	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	128	△309
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	128	△309

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	128	△309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	3
退職給付に係る調整額	△19	△24
その他の包括利益合計	△9	△21
四半期包括利益	119	△330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	△330
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。